

いよいよ本格的な受験シーズンがやってきました。 受験生の皆さん、志望校合格を目指して、全力でやり抜きましょう。

合い言葉は「絶対にあきらめない！」

中学 3 年生と高校 3 年生の受験生の皆さんにとって、10 月～12 月の 3 ヶ月間は本当に大切な勝負の時期と言えます。この 3 ヶ月間の頑張りが合否を大きく左右すると言っても過言ではありません。まず大事なことは「絶対にあきらめない」ことです。人というものは不思議なもので、一旦「このくらいでいいや。ここまでやったから。」と思ってしまうと、必ずペースダウンをしてしまいます。そうすると、今まで同じようなレベルで切磋琢磨してきた人達にあとという間に大きく水をあけられてしまうことになり、結果として志望校進学をあきらめてしまうようなことになりかねません。これは受験だけでなく、何事においても同じであり、一瞬の気の迷いが取り返しのつかないことに繋がってしまいます。ですから、この 3 ヶ月間の私達教師と受験生の皆さんとの間の合い言葉は「絶対にあきらめない！」です。

さらに、文理学院では、この 3 ヶ月間の目標として、自分が安全圏だと思っている高校や大学より 1 ランク上の学校を目標にして勉強に取り組むよう指導します。「このくらいやっていたら大丈夫だ。」と思ってしまうと、学力はそれ以上には伸びません。手が届かないのではないかと思うような学校を目標にして、必死でやって初めて成果が出てきます。

あきらめず努力し大勢の人が逆転合格

文理学院には、夏以降も絶対にあきらめることなく 1 つでも上を目指して必死に勉強に取り組んできた生徒がたくさんいます。たと

えば、昨年 10 月 20 日発行の「文理だより第 71 号」で紹介した高等予備校中島校所属の W さんがそうです。6 月実施の進研マーク模試の合計得点は 539 点 (900 点満点) でした。国公立大学進学を希望していた W さんにとって、進学に赤信号が点灯したのです。しかし、W さんはあきらめずに勉強を続け、9 月の進研マーク模試で 648 点に得点を伸ばし、その後もしっかりと努力して見事静岡大学に合格しました。

また、「文理だより第 74 号」で紹介した小・中学部富士南校所属の O さんもそうでした。5 月に中学校で実施された実力テストの得点は 161 点 (250 点満点) でした。これではとても自分の志望する高校には行くことはできません。O さんはあきらめませんでした。11 月のステージテストで得点を 219 点に伸ばし、その後もその高いレベルを維持し続け、見事難関高の 1 つである清水東高校に合格しました。

小・中学部東桂校所属の K さんの場合、7 月の高校入試模試の得点は 399 点 (500 点満点) でした。地域のトップである吉田高校理数科に合格するには 420 点以上が必要であると言われていました。K さんも頑張りました。11 月に実施された教達検テストで得点を伸ばして 445 点とし、吉田高校理数科に見事合格したのです。

受験生の皆さんにとって、10 月～12 月のこの 3 ヶ月こそ、高い目標を持ち、絶対にあきらめることなくギリギリまで挑戦し続けることが大切です。私達教師がとことんサポートします。「合格」を目指して、「絶対にあきらめない」で共に頑張り抜きましょう。

四谷大塚主催の全国統一小学生テストが 11 月 3 日 (火・祝) に実施されます。 対象学年は小学 1 年～6 年です。積極的にご参加下さい。

四谷大塚主催の小学 1～6 年生を対象とした全国統一小学生テストが 11 月 3 日 (火・祝) に実施されます。このテストは 47 都道府県 2000 会場以上で実施され、毎年 10 万人以上の小学生が参加しています。文理学院では全校舎を受験会場とし、前回は約 1500 人の小学生が参加しました。

平成 27 年度全国学力調査

今年度の文部科学省によって実施された全国学力調査の結果、山梨県は小学 6 年生算数 B の正答率が 41.9% であり、全国で最下位であることが判明しました。また、静岡県においても、2 年前に小学 6 年生国語 A の正答率が 57.7% で全国最下位となり、4 種類の総合評価が 43 位で、大きな問題になりました。

これらの結果は、山梨県と静岡県の小学生の皆さんの能力的な問題というよりも、全国的なレベルで自分達の学力を正しく評価する機会がほとんど与えられていなかったことに起因していると考えられます。事実、静岡県の場合、教育現場での真剣な取り組みによって、今年の学力調査では全国平均を上回る結果が出ています。た

だ、残念なのは、この学力調査の場合、個人の成績がまったく発表されないことです。

全国統一小学生テストに参加する意味

四谷大塚主催の全国統一小学生テストは、他に類を見ない全国最大規模のテストであり、幸いなことに個人の成績が詳細なデータ付きで各人に返却されます。これは、うまく利用すれば子ども達にとって最高の贈り物になります。どこができてどこができていないかを明確に知ることができるからです。文理学院は、通塾する小学 1～6 年生全員にこのテストに参加してもらうことにしています。現在の自分の理解度をより客観的に把握してもらうためと、こういった全国規模のテストに参加する機会をできるだけ多く持ってもらうためです。そして、万全を期すことを目的に、テスト前には「対策授業」を、テスト後には「復習授業」を実施します。

保護者の皆様、お子様が早い段階からこういった全国規模のテストに参加することは、必ず後日役に立ちます。ぜひ参加するようお子様を励ましてやって下さい。ご支援・ご協力のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。